

第413回 定例研究報告会

「アジア/世界エネルギーアウトルック2013」

シェール革命がもたらす変革をどう読むか

小山 コメント資料

2013年10月21日(月)

一般財団法人 日本エネルギー経済研究所

小山 堅

米国シェール革命の影響

■ 天然ガス需給

- 米国の需給緩和、価格下落（国際価格との乖離）
- 米国ガス需要の拡大（発電用中心。交通用・産業用など新規分野も）
- LNG輸出計画と国際ガス市場への影響

■ 石油需給

- 石油生産拡大（消費低下と相まって）で米国は石油輸入依存低下
- 国際石油需給の緩和要因に。OPECにとっての「脅威」に
- 軽質原油生産増で、原油価格の重軽格差・精製マージンに影響
- LPGについても、生産・輸出拡大で国際LPG市場に影響

■ その他のエネルギー需給

- 米国からの石炭輸出拡大（ガスに代替された石炭が余剰化）
- 欧州では、石炭がガス対比で競争力強化、需要拡大へ
- 原子力、再生可能エネ普及にも影響か

■ 経済・産業面

- 米は、石油・ガス産業での雇用増大、ガス（エネルギー）価格低下、ガス利用の産業部門（化学産業、他）での投資・雇用増大等のベネフィット発生
- 石油輸入代金減少による貿易赤字削減も米マクロ経済に効果
- 米国の経済力・競争力強化を通して国力増大

■ 地政学・国際関係

- 米国の国力増大およびエネルギー自給化による国際関係・地政学問題への影響は？
- 米の対中東政策、対中国政策、対アジア政策、対ロシア政策、対シーレーン政策、他は？
- その中での、中東－アジア（中国）関係、ロシア－アジア（中国）関係等は？